

開催日：令和4年2月9日（書面審議）

出席委員：（承諾書提出者 委員14名中14名）

星野和實会長、山崎弘道委員、畠山和男委員、黄淳一委員、秋山賢一委員、間渕文彦委員、山角駿委員、大塚ゆかり委員、千野由貴子委員、板山俊介委員、越水眞澄委員、古屋好美委員、新田正彦委員、神吉まゆみ委員

議 事：

1 第2回審議会を書面で開催することについて（審議）

事務局：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、第2回審議会を書面で開催することについて説明を行い、各委員から書面にて承諾を得た。

2 「甲府市障がい者福祉計画」数値目標設定事業の評価について（審議）

事務局：数値目標設定事業の一覧表を用いて、令和3年度上半期の数値目標設定事業の評価についての説明を行い、評価内容について各委員から書面にて承諾を得た。

承諾に付された意見

A委員：福祉計画数値目標の設定を毎年度変更しているが、第何次事業として数年単位で行うときはその数年は目標値を変更しない方がいいのではないか。

B委員：地域移行支援・地域定着支援については、対応可能な事業所が限定的ではあるが、精神科病院においては認知度が低くない状況である。しかし、計画相談を担当する相談支援専門員自体が見つからなかったり、新型コロナウイルス感染症対策のため外部の人間の出入りを拒否する医療機関の事情もあつたりしたため、今年度は極端に支給数が減ったものと思われる。支援を必要とする人が一定数いることは確実であり、スムーズな支援の導入をするためにも対応する事業所を増やし相談支援専門員不足の解消を検討してほしい。
障害児相談支援についても、成人の課題同様、増加する利用者数に見合うだけの相談支援専門員がいない。行政として事業所の拡充に向けた具体的な働きかけについて説明をお願いしたい。

C委員：新型コロナウイルス感染症の影響が大きく表れている。未だ収束の見通しが無い中、新たなニーズ、例えば、家族の入院による障がい者の短期入所や在宅で外出しなくなることによる情報不足などはないのだろうか。相談支援専門員等からコロナ禍故のニーズなどアンケート調査を行ってはどうか。

資 料：

- ・資料 「甲府市障がい者福祉計画」数値目標設定事業一覧表
- ・別紙 障害者福祉専門分科会 書面審議承諾書